

平成23年度 分野チェックリスト

分野名	健康・福祉分野		分野番号	3
分野担当部	保健福祉部	関連部	区民生活部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	22年度末	年度末
1	国民健康保険加入者1人あたり医療給付費 (地域差指数=全国平均1)	全国平均=1	0.902	0.904	—	減少させる	
2	公共施設バリアフリー度	%	51.2	51.4	51.5	70.0	
3	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	11	9	9	12	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	78.5	79.6	85.2	83.0	
5	保育園待機児童数	人	137	23	71	0	

※指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

1. 全国平均を1として保険者ごとに医療給付費がどの程度かかっているかを表す「地域差指数」でみると、杉並区は平成21年度、23区の中で目黒区に次いで低い値になっています。また、平成20年度以前についても低い水準を保っていました。今後も増加する医療給付費の適正化を図るため、特定健診・保健指導を効果的に実施するとともに後発ジェネリックの普及をはかりつつ、中長期的に医療費の伸びを抑制します。
2. バリアフリー度の低い区立施設の民営化により、指標値は僅かながら高くなりました。施設の種類によって整備の優先項目が異なることや区立施設の民間委託が進むことにより、目標値を一律に設定するのは難しい面があります。
3. 特別養護老人ホームの入所平均待機期間は、これまで、計画的な施設整備や優先度の高い人から入所できる仕組みにより、減少傾向にありました。また、平成21年7月マイルドハート高円寺(130床)が開設したことにより、待機期間が縮減され、平成22年度末には、待機期間9か月、待機者数は1,864人(Aランク971人)となりました。
しかし、今後も高齢化の進展に伴い、入所待機者数は、平成25年度に約2,300人(Aランク1,084人)、平成30年度には約3,000人(Aランク1,441人)に増加することが見込まれ、今後、一層の施設整備が求められています。
4. 高齢者で、いきがいを感じている人の割合は、22年度区民意向調査、高齢者実態調査ともに増加しました。週に2回以上外出する高齢者の割合、ボランティア活動や働いている高齢者の割合も両調査とも伸びています。高齢者実態調査によると、健康で趣味、スポーツ、仕事に活動的な人ほど、いきがいを感じる傾向が強いことがわかります。長寿応援ポイント事業、介護予防事業の普及、推進を図り、いきがいを感じる高齢者を増やします。
5. 保育需要の急増により待機児童数が増加していたが、保育園改築による定員拡大(30人)、既存園の受入れ増(57人)、認証保育所の開設(105人)に加え、区独自の保育室13所(349人)の緊急整備を行い、22年4月の待機児童数は23人へと大幅に減少させることができましたが、その後も増え続ける保育需要で、入所申込み者も前年以上となり、23年4月の待機児童数は71人へと増加しました。区では、将来にわたり待機児童の出ない安心な保育環境を創出するため、21年9月に区の保育施設整備計画(22年度～25年度)として『保育に関する安全・安心プラン』を策定し、今後、プランの着実な実行により、待機児童解消状態を安定的に継続させていくこととしている。

チェックリストの状況(参考)		
番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	国民健康保険一人当たり医療費	○平成21年度実績では、杉並区の地域差指数は0.904と平成20年度実績の0.902からは0.002さがっている。他の自治体と比較しても、23区では目黒区に次いで2番目に低い数値を示している。10万人を超える被保険者数を有する多摩地区と比較すると、被保険者数が約15万人の八王子市の地域差指数は0.936、同じく約11万人の町田市は0.920である。
	国民健康保険一人当たり医療給付費 (地域差指数=全国平均を1とする) (計算式)=杉並区国保の一人当たり給付費/全国平均一人当たり医療給付費	
2	公共施設のバリアフリー度	○同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 ○区立施設は、不特定多数が利用する施設(体育館、ゆうゆう館、児童館、集会施設等)のみを対象とした。 ○スロープ:81.3%、自動ドア:59.6%、障害者トイレ:64.9%。その他の事項の整備状況は「いってきまっふホームページ」で公開・更新している。
	公共施設(区立施設)において、スロープ・自動ドア・障害者用トイレの全てを備えている建物	
3	特別養護老人ホームの入所者平均待機期間	○各自治体により、待機期間の把握の有無や、待機期間の捉え方など様々であるため比較は困難である。
	特別養護老人ホームに入所した人のうち、申し込みから入所までに要した待機期間の平均月数。ただし、14年度までは、原則として、申込み順となっている。	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	○22年度中央区の実態調査では、いきがいを感じる人は85.5%である。しかし、自治体による区民意向・世論調査に、同様の調査内容は少なく、比較が難しい。
	65歳以上のうち「あなたは、いま生きがいを感じていますか」に「はい」と回答した人の割合	
5	保育園待機児童数	○東京都23区の待機児童数 4,885人(平成22年4月1日)⇒4,506人(平成23年4月1日) ○23年4月1日の杉並区の待機児童数71人は23区で8番目に少ない人数となっている。
	翌年度4月1日の待機児童数	
特記事項		